

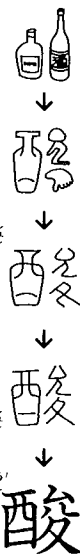
# 酸

五年

筆順 14  
フン オン サン

酸 酢 酸  
酸 酢 酸

成り立ち



頭のすぐれた人を「俊」、高い山を「峻」、脚の速い馬を「駿」といいます。「夂」は「程度が高い（進んでいる）」という意味の字です。

酸は、酒の意味の「酉」と、「夂」とを組み合わせて作った字です。「発酵が進んだ酒。味が「きつく」なった酒」を表した字です。「酢」のことです。「酢酸」のことです。味がひじょうにきついので、「つらい」「苦しい」という意味にも使われます。【例】辛酸。

酸が青いリトマス紙を赤に変えますが、この性質をもつ化合物の名前にも使われます。【例】塩酸、硫酸、硝酸、胃酸、乳酸。

# 賛

五年

筆順 15  
フン オン サン

賛 賛 賛

成り立ち



頭にかんむりをのせた成人の意味の「夫（4年608）」、「二つとお金の意味の「貝」とを組み合わせて作った字です。

「二人の男が、お金をたよりにしている」ことを表した字で、「二人がお金を融通し合い、助け合っている」とことを表したものです。【例】賛助、協賛、賛成。

また、「讚（ほめる）」の意味に使われています。【例】賛美、賛嘆、賛辞、称賛。

また、絵のわきにそえて書かれた詩文を「賛」と言いますが、これは、「絵をほめる詩文」だからです。

「讚は「言葉をもつて助ける」という意味の字で、「ほめる」という意味を表したものである。」

使い方

▽このジュースは酸味がきついが、さっぱりとしてとてもおいしい。  
▽あの人は、世の辛酸をなめた人だが、暗い影が少しも見えません。

熟語例

- ▽酸味（すっぱい味）
- ▽辛酸（つらい経験。苦勞。「世の辛酸をつぶさになめる」と言えば、「ありとあらゆる苦勞を重ねる」という意味です。）
- ▽酸鼻（むごたらしく、いたましいこと。「戦場の光景は酸鼻を極めたものだった」などというふうに、つかいます。）
- ▽酸性（物質が酸の性質を持つていること。酸性の物質は、青いリトマス紙を赤に変える性質を持っています。）
- ▽塩酸（塩化水素の水溶液）
- ▽硫酸（酸性の非常に強い劇薬。ひふにつくと、やけどをします。）
- ▽胃酸（胃液に含まれている酸性の消化液）

使い方

▽わたしは、友だちと、一緒に美術展に行きました。色々な絵が展示されていましたが、中に一枚、非常に美しい色彩の絵があつて、思わず賛嘆のあまり、しばらくその場を動けませんでした。友だちも、その絵を口をきわめて称賛しました。  
▽おとうさんが、今度の日曜日に、遊園地に行こうと言ったので、ばくも弟も大賛成しました。

熟語例

- ▽賛助（その事業の趣旨に賛成して、援助すること。）
- ▽協賛（その計画に賛成して、協力すること。）
- ▽賛成（人の意見に同意すること。）
- ▽賛美（ほめたたえること。「賛美歌」と言えば、キリスト教で、神の徳をほめたたえる歌のことです。）
- ▽賛嘆（深く感心して、ほめたたえること。）
- ▽賛辞（ほめたたえる言葉。「自分の命を犠牲にして、人を助けた男の人の行為に、皆は賛辞を惜しみませんでした」などというふうに、つかいます。）
- ▽称賛（ほめたたえること。「賞賛」とも書きます。）